



スペクタクル[®] フロアブル

除草剤

芝用

一年生雑草に



{fig. w-42}
Poa annua

Take a good look. You may never see it again.

少ない薬量で長く効く 新しいタイプの土壌処理剤





スペクタクル
フロアブル

除草剤

芝用

特 長

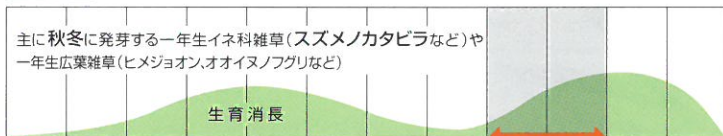
- 主に雑草の根部から吸収され、植物の細胞壁を構成する不溶性セルロースの生合成を阻害
- スズメノカタビラ、メヒシバに対する安定した効果
- 一年生広葉雑草にも効果を示す、幅広い殺草スペクトラム
- 安定した土壌処理層の形成
- 春処理では90日以上、秋処理では150日以上、雑草の発生を抑制
- 使用薬量が少なく(0.02 ~ 0.03ml/㎡)、薬剤調製のしやすいフロアブル製剤
- 日本芝に対する高い安全性

フルハウスフロアブルやフェナックスフロアブルとは異なる作用性を有しますので、ローテーション散布にお役立てください。

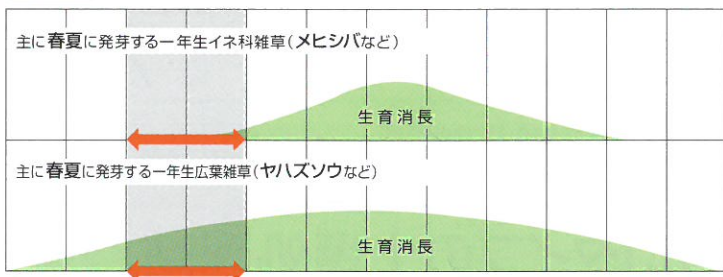
散 布 タイミング と メリット

散布タイミング

秋冬



春夏



⇔ 推奨使用タイミング

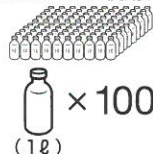
対象雑草発生後においては、アーザラン液剤、トリブートOD、デスティニーWDGなどと組み合わせてご使用下さい。

スペクタクルフロアブルのメリット
少ない使用量で容器の廃棄量を減らせます

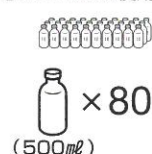
20万㎡の芝の雑草管理をする場合



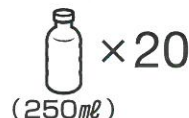
A剤を0.5ml/㎡で使用する場合



B剤を0.2ml/㎡で使用する場合



スペクタクルフロアブルを
0.025ml/㎡散布する場合は
5リットルですみます



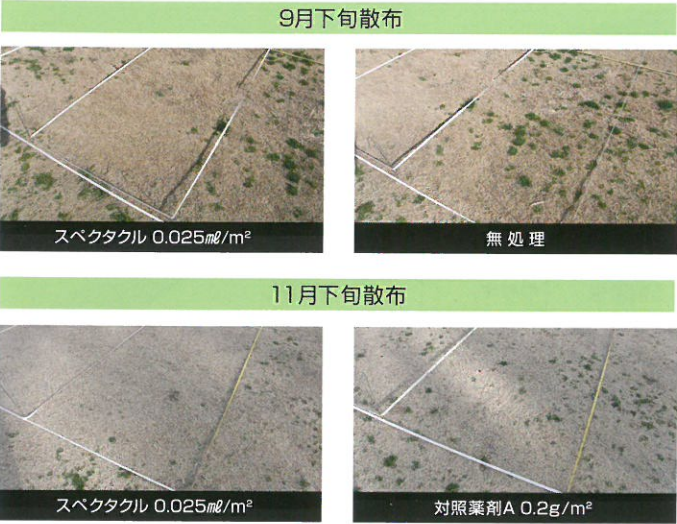
ベントグリーンから5m以上離してお使いください

余裕のある散布適期幅が魅力

除 草 効 果

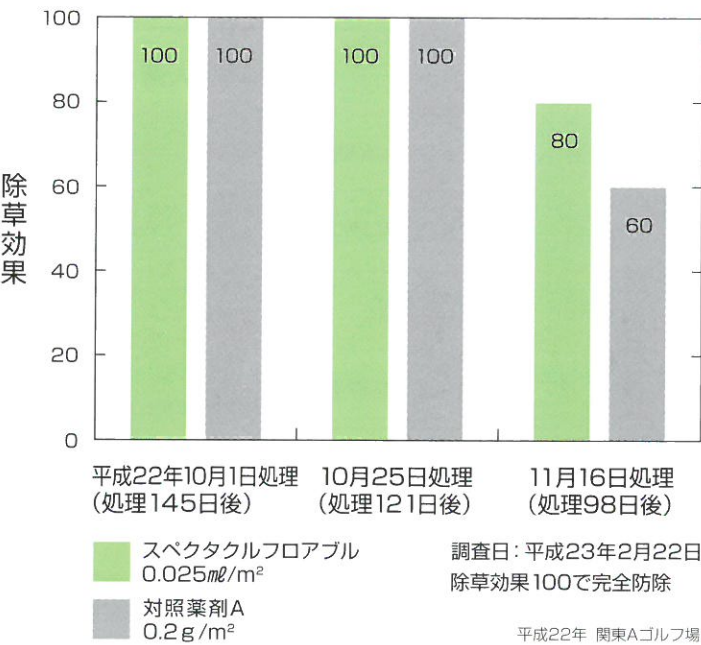
スズメノカタビラに対する除草効果(散布時期別の効果)

試験事例①

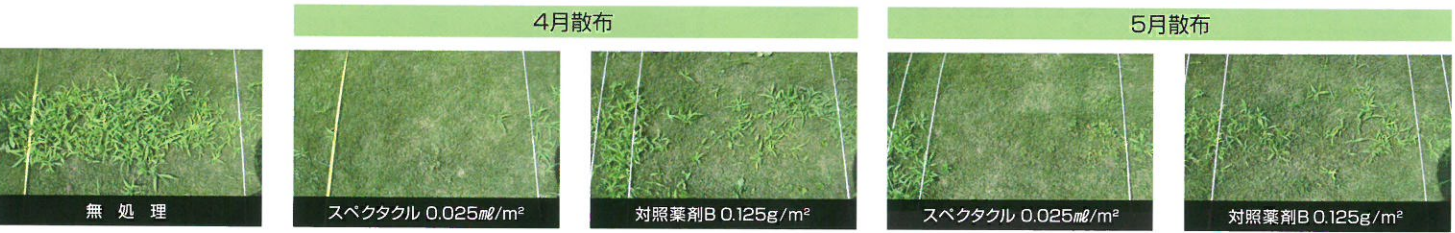


散布日 : 平成23年9月26日、1月22日
調査日 : 平成24年3月12日
試験場所 : 関東Aゴルフ場(試験事例②と同じ)

試験事例②



メヒシバに対する除草効果(散布時期別の効果)



散布日 : 平成22年4月14日、5月19日
調査日 : 平成22年7月26日
試験場所 : バイエルクロップサイエンス(株)所内コウライシバ圃場

殺草スペクトラム

科 名	和 名	発生前処理 散布薬量(ml/m²)		
		0.02	0.025	0.03
イネ科	スズメノカタビラ	●	●	●
	メヒシバ	●	●	●
	アキメヒシバ	○	●	●
キク科	オオアレチノギク	●	●	●
	アレチノギク	●	●	●
	ヒメムカシヨモギ	◎	●	●
	ヒメジョオン	●	●	●
	ハハコグサ	●	●	●
	ハキダメギク	●	●	●
	マメカミツレ	●	●	●
	オニタビラコ	●	●	●
	トキンソウ	●	●	●
	オオイヌノフグリ	◎	●	●

科 名	和 名	発生前処理 散布薬量(ml/m²)		
		0.02	0.025	0.03
ナデシコ科	ハコベ	●	●	●
	オランダミミナグサ	◎	●	●
	ツメクサ	○	●	●
トウダイグサ科	コニシキソウ	○	◎	◎
マメ科	ヤハズソウ	◎	●	●
	スズメノエンドウ	◎	●	●
	カラスノエンドウ	◎	●	●
アブラナ科	タネツケバナ	●	●	●
カタバミ科	カタバミ	□	●	●
カヤツリグサ科	カヤツリグサ	◎	●	●
シソ科	ヒメオドリコソウ	●	●	●
	ホトケノザ	●	●	●
クワ科	クワクサ	●	●	●
タデ科	イヌタデ	●	●	●

● : 残草0% ◎ : 残草1-5% ○ : 残草6-10% □ : 残草11-30% △ : 残草31-50% × : 残草51%以上 (日本植物調節剤研究協会委託試験結果および社内試験結果より)

効果安定のためには、0.025 ml / m²を推奨します。



スペクタクル
フロアブル

除草剤

芝用

農林水産省登録
第23066号

適用雑草および使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		使用方法	本剤およびインダジフラムを含む農薬の総使用回数
			薬量	希釈水量		
日本芝	一年生雑草	雑草発生前	20~30mℓ /10a	200~300ℓ /10a	全面土壌散布	2回以内

有効成分と性状

種類名	インダジフラム水和剤
商品名	スペクタクルフロアブル
有効成分	インダジフラム……19.1%
性状	類白色水和性粘稠懸濁液体
荷姿	250mℓ×2本

人畜・水産動植物に対する安全性(製剤)

人畜毒性	経口	ラット(♀)	LD ₅₀ >5,000mg/kg
	経皮	ラット(♂♀)	LD ₅₀ >2,000mg/kg
	皮膚刺激性	ウサギ	刺激性なし
	眼に対する刺激性	ウサギ	刺激性なし
水産動植物に対する影響	コイ		LC ₅₀ 4.74mg/ℓ(96hr)
	オオミジンコ		EC ₅₀ 14.9mg/ℓ(48hr)
	藻類(緑藻)		ErC ₅₀ 0.75mg/ℓ(0-72hr)

効果・薬害等の注意事項

- 使用前に容器をよく振ってください。
- 一年生雑草の発生前に有効なので、時期を失しないように均一に散布してください。
- 十分に活着した日本芝に使用してください。
- 寒冷地型芝には薬害を生じるので使用しないでください。
- 使用量、使用時期、使用方法を守り、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

貯蔵上の注意事項

- 直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密栓して保管してください。

安全使用上の注意事項



- 誤飲などのないように注意してください。
- 眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗いし、眼科医の手当を受けてください。
- 散布時は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用し、作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをしてください。
- 公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意してください。

水産動植物の被害防止等に関する注意事項

使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。
散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。
また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

スペクタクルフロアブルを安全かつ効率的にご使用いただくために

- 十分に活着し、ターフを形成した日本芝に使用するようにお願いします。
- 1年間に1回の使用をお勧めします。
- 極度の砂質土壌では使用を控えてください。
- 日本芝であっても、パッティンググリーン・カラー・痛みの激しい、または砂質土壌のティーランドでの使用を控えてください。
- 様々な要因(除草剤、気象条件、作業、プレー、生育不良など)により、明らかなダメージをうけている芝においては使用を控えてください。
- 処理前後のバーティカルなどの更新作業は控えてください。
- ベントグリーンを含む寒地型芝あるいは有用作物などの周辺においては、ドリフトがないように5m以上の緩衝区を設けるとともに、風向き等に十分に注意して散布するようにお願いします。
- 下方にベントグリーンなどの寒地型芝があるような傾斜地においては、使用を控えてください。
- 激しい降雨が予想される場合は使用を控えてください。
- 芝種子の播種を実施する場合には、本剤処理から12か月以上の間隔をあけてください。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載内容以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届くところには置かないでください。



Bayer

バイエル クロップサイエンス株式会社
エンバイロサイエンス事業本部

〒100-8262 東京都千代田区丸の内1-6-5
【お客様相談室】0120-575-078
www.es.bayer.jp

お問い合わせ先